

【主催】更北中学校ものづくり部理科班／更北地区住民自治協議会／更北流域
治水研究会／「小さな自然再生」研究会／日本河川・流域再生ネットワーク
【協力】須坂市技術情報センター科学クラブ／公益財団法人リバーフロント研究所

「小さな自然再生」現地研修会（第27回）開催報告

2024年11月30日（土）長野県長野市・千曲川流域



開会挨拶



座学研修



休耕田での実践



記念撮影



日本河川・流域再生ネットワーク

2025年3月



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

「小さな自然再生」現地研修会（第27回）

開催報告

2024年11月30日（土）長野県長野市・千曲川流域

はじめに

長野県長野市の千曲川と犀川に挟まれた休耕田において、「小さな流域治水：休耕田から地域を盛り上げよう」をテーマに、休耕田を活用して田んぼに生きものを増やすとともに、洪水時には田んぼダムとして機能する場づくり、更には環境と治水の学びを通じたコミュニティづくりを目指した「小さな流域治水」に挑戦する更北中学校の生徒たちとともにエコアップ活動を実践し、今後の展開について参加者とともに汗をかきながらアイデアを交換しました。

この開催報告は、研修会の参加者とともに学び議論した内容の一部を、当日の写真を中心に皆様にご紹介するものです。

本研修会にご参加、またご協力頂きましたの皆様に厚く御礼申し上げます。

2025年3月

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

開催概要

- 開催日時： 2024年11月30日（土） 10:00～16:00
- 開催場所： 長野県長野市真島町 <座学：川合公民館／現地：千曲川流域の休耕田>
- 参加者： 35名
- 主催： 更北中学校ものづくり部理科班 / 更北地区住民自治協議会 / 更北流域治水研究会 / 「小さな自然再生」研究会 / 日本河川・流域再生ネットワーク
- 協力： 須坂市技術情報センター科学クラブ／公益財団法人リバーフロント研究所

プログラム

(10:00～12:00) 休耕田を治水とエコアップの道場とするための座学研修@川合公民館

- 開会挨拶
- 更北中学校ものづくり部理科班による取組み（佐々木 宏展：長野市立更北中学校）
- 地域で学びの場をつくる（山本 里江：更北ボランティアセンター室長）
- みんなで取り組める流域治水～千曲川と犀川に挟まれた更北の地を巡る～
（土屋 祐輔：長野西高校）
- 一石三鳥の小さな田んぼダム 及び 展示紹介
（小さな田んぼダムプロジェクトチーム：長野市立更北中学校）

(12:00～13:00) 昼食

(13:00～16:00) 小さな流域治水の実践～休耕田で治水とエコアップを見試ししよう

- 休耕田周辺を踏査し、休耕田におけるエコアップ作業に汗をかき、最後にこれからできることを参加者で振り返りました。

■現地指導：

上野 裕介（石川県立大学 生物資源環境学部）、
川口 究（いであ株式会社 生態解析部）、
鈴木 敏弘（公益財団法人リバーフロント研究所）

(16:00) 閉会

座学研修



更北中学校ものづくり部理科班による取組み

(佐々木 宏展：長野市立更北中学校)

休耕田の活動に関わるこれまでの経緯、地域の方々への感謝、防災・減災と自然環境を掛け合わせた小さな自然再生への期待を含む、本日の研修会の趣旨についてお話をしました。



地域で学びの場をつくる

(山本 里江 : 更北ボランティアセンター室長)

昨年からはじめた地域と中学校による取組みの概要、水防災に関わる地域と交流する取組みの必要性、今後の新しい部活動のあり方などについてお話を頂きました。



みんなで取り組める流域治水～千曲川と犀川に挟まれた更北の地を巡る～

（土屋 祐輔：長野西高校）

流域治水とは何か、この地域の水害リスクや地形の成り立ちについて、地理院地図や川中島平乱流絵図より分かりやすく説明頂き、活動の場の履歴を参加者で理解しました。



一石三鳥の小さな田んぼダム

(小さな田んぼダムプロジェクトチーム：長野市立更北中学校)

プロジェクトチームメンバーの自己紹介に続き、休耕田活用策の一つとして、田んぼダムの認知度、機能、またその効果について、スライドと模型実験で分かりやすく紹介頂きました。



更北中学校ものづくり部理科班による活動成果の紹介

現地演習（午後）

テーマ：「小さな流域治水の実践～休耕田で治水とエコアップを見試しよう」

午前の座学を通じて学んだこれまでの地元の取組みを踏まえ、午後の現地実習では、千曲川と犀川に挟まれたこの土地の履歴を再確認し、休耕田周辺の自然環境や水環境を踏査するとともに、休耕田におけるエコアップ作業に汗をかき、最後にこれからできることを参加者で振り返りました。。



現地に出向く前に土地の履歴を復習（上野裕介：石川県立大学生物資源環境学部）

【休耕田周辺の踏査】



【休耕田でできる小さな自然再生を考える】



休耕田におけるこれまでの取り組みや自然環境の特徴について参加者で共有



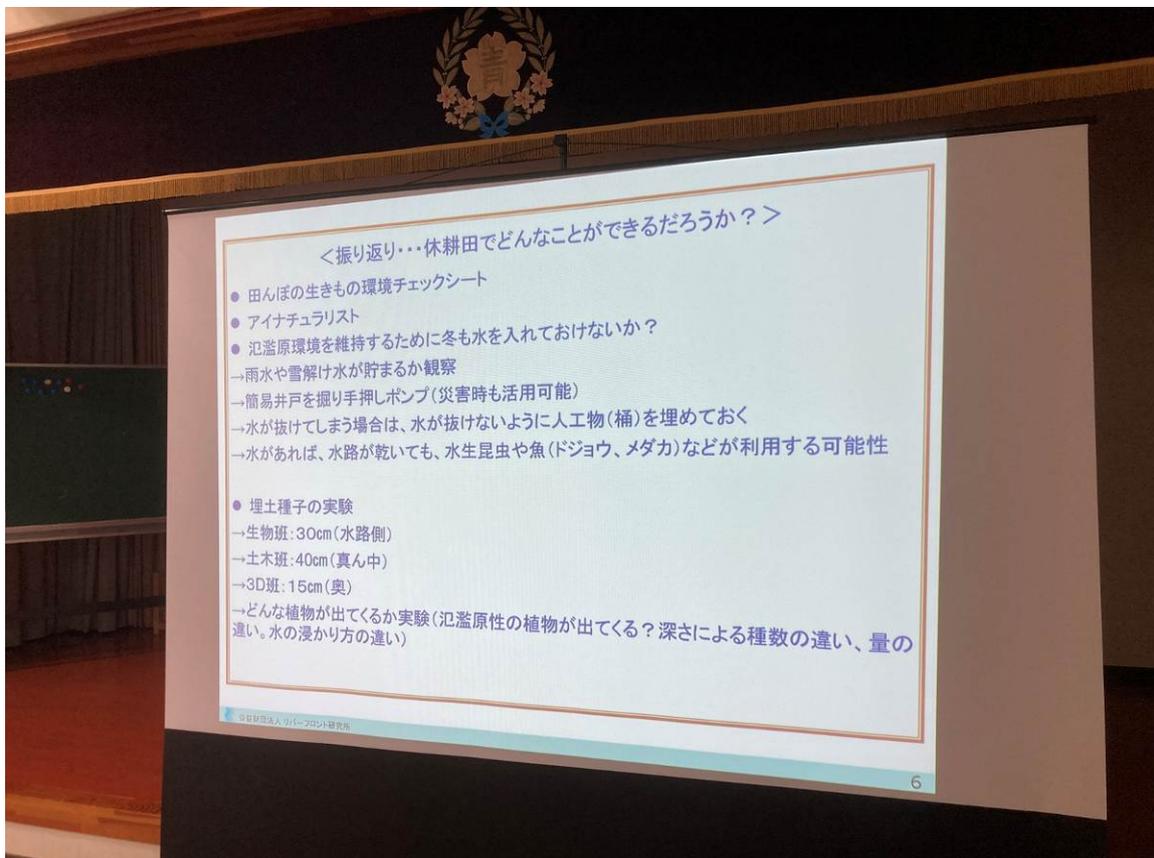
冬場の農業用水路の生物観察（川口究：いであ株式会社生態解析部）





休耕田での研修会終了後の記念撮影

【研修会の振り返り】



これから休耕田でどんなことができるのか？ 振り返り会議

参考資料 1 – 千曲川と犀川に挟まれた地に建つ”更北中学校”

URL:

<https://storymaps.arcgis.com/stories/8b2efa8a73c3430580a6c3f3eed29a4e>

千曲川と犀川 に挟まれた地 に建つ”更北 中学校”

Nagano City Kohoku J.H.S

須坂市技術情報センター 科学クラブ 長野
市更北中学校 ものづくり部理科班 青木
2023年5月7日



[長野市 更北中学校について](#) 学校の生き物 校舎と生き物の関係 準絶滅危惧種のアスレナグモを学校で発見！

参考資料 2 – 参加者募集チラシ (表面)

第27回 **長野県長野市・千曲川流域**
「小さな自然再生」現地研修会
 ～小さな流域治水：休耕田から地域を盛り上げよう～

参加者募集

開催日
 令和6年**11月30日** **土**

【開催趣旨】 千曲川と犀川に挟まれた場所に位置する更北中学校では、地域の休耕田を活用しながら、田んぼに生きものを増やすとともに、洪水時には田んぼダムとして機能する場づくり、更には環境と治水の学びを通じたコミュニティづくりを目指した「小さな流域治水」に挑戦しています。本研修会では、中学生とともに休耕田のエコアップ活動を実践し、こうした取組の価値や今後の展開について参加者とともにアイデアを交換し学び合います。

開催日時	令和6年11月30日(土) 10:00～16:00
会場	長野県長野市真島町川合157-5 <座学：川合公民館 / 現地：千曲川流域の休耕田>
対象	小さな自然再生に関心のある方々
定員	50名程度(先着順)
参加費	無料
持ち物	長靴(田んぼ作業ができる格好)、防寒着、作業用手袋、昼食
プログラム	※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。 ※主催者側で行事保険に加入いたします。

※参加申込方法、会場へのアクセス、問合せは裏面をご覧ください。

(10:00～11:30) 休耕田を治水とエコアップの道場とするための座学研修 @川合公民館

- 開会挨拶
- 更北中学校ものづくり部理科班による取組み (佐々木 宏展：長野市立更北中学校)
- 地域で学びの場をつくる (山本 里江：更北ボランティアセンター室長)
- みんなで取り組める流域治水～千曲川と犀川に挟まれた更北の地を巡る～ (土屋 祐輔：長野西高校)
- 一石三鳥の小さな田んぼダム (小さな田んぼダムプロジェクトチーム：長野市立更北中学校)

(11:30～12:30) 昼食

(12:30～16:00) 小さな流域治水の実践～休耕田で治水とエコアップを見試しよう

- まずは休耕田周辺を踏査し、休耕田におけるエコアップ作業に汗をかき、最後にこれからできることを参加者で振り返ります。
- 現地指導： 上野 裕介 (石川県立大学 生物資源環境学部)、川口 究 (いであ株式会社 生態解析部)、鈴木 敏弘 (公益財団法人リバーフロント研究所)

(16:00) 閉会



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

主催：更北中学校ものづくり部理科班、更北地区住民自治協議会、更北流域治水研究会
 「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

協力：須坂市技術情報センター科学クラブ、公益財団法人リバーフロント研究所

ああああああああああああああああああああああああああああああ

参考資料 2 – 参加者募集チラシ（裏面）

会場のご案内



※研修会場へは **お車** でお越し下さい。

※**長野駅東口から座学会場までの送迎（往復）を希望する方は、申込時に事務局までお知らせください。**

※土曜日は最寄りまでのバスの運行がありません。

研修会場： **川合公民館**

〒381-2203 長野県長野市真島町川合157-5



申込み方法

必要事項（氏名・所属・連絡先等）を明記の上、E-mailでお申込み下さい。

申込〆切日：令和6年11月26日（火）17:00

E-mail：info@a-rr.net

項目	記入欄	
(ふりがな) 氏 名		
所 属		
連絡先	〒	
	住所：	
	電話：	
	Email：	
送迎希望 (長野駅～座学会場)	長野駅東口⇔座学会場までの送迎希望（往復） ※9:00長野駅東口集合	
	要	不要

※記入された個人情報は、厳重に管理した上で、JRRNが主催する行事等のご案内に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。
※当日は写真撮影及び動画撮影を行います。撮影した写真や映像は、WEBや活動報告書等で今後使用させて頂きますので予めご了承下さい。

【お問合せ】 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 (担当：和田彰・森本洋一)

〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 NMF茅場町ビル7階 (公財)リバーフロント研究所内

Tel: 03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

Website: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>



(MEMO)



「小さな自然再生」現地研修会（第27回）開催報告

～ 2024年11月30日（土）長野県長野市・千曲川流域 ～

2025年3月25日

【発行】

日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF茅場町ビル7階

公益財団法人リバーフロント研究所 内

電話:03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640

E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

※JRRN 事務局は、公益財団法人リバーフロント研究所が公益を目的に運営を担っています。